

ICANNシンガポール会議全体報告

2015年4月14日 第42回ICANN報告会

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部・インターネット推進部
奥谷泉



ICANN52会議 開催概要

- **開催期間**
 - 2015年2月8～12日
- **会場**
 - Raffles City Convention Center
 - シンガポール



オープニングセレモニー

- 1998クリントン政権により発表された
“A Framework for Global Electronic Commerce”
 - 政府の管理から自由なインターネットの概念を提唱した当時とした画期的な内容
 - 経済の活性化を担うのは次世代技術のうちインターネットは適切な環境を与えれば短期間で伸びる可能性を秘めている
- **スピーチ 一部抜粋**

クリントン元大統領
の政策顧問
Ira Magaziner氏



“The Internet has always had a bit of rebelliousness about it.

There was always a place that was individualistic. It encouraged innovative people, even crazy people, and let their creativity flower”

“The Internet should belong to a global community, not just to one country’s control. We’re now at a point in time where that final piece of the vision can happen”

ICANN52の特徴

- **IANA機能の監督権限移管、ICANN Accountability(説明責任)の議論に重点**
- **ccTLDの委任に関する検討 (FoI)**
 - FoI WGのレポートへの対応：ccNSO→GAC
- **新gTLD**
 - オークション収入の扱い、Universal Acceptance以外
はこれまでの課題の継続
 - 次のラウンドに向けた検証を具体的に着手
- **gTLD WHOISの見直し**

ICANN会議前のIANA監督権限移管 を取り巻く状況

- ICGから求められていた三資源のコミュニティのうち、ドメイン名に関する移管提案を進めてきたICANNのName CWGは2015年1月15日までに提案提出が間に合わないことが発表
 - 最短で2015年6月提出
- ICANN Accountabilityに関する提案も、同時にNTIAへの提出が求められることが明確化
- 米国政府で着目する動きも出てきている
- 詳細は本日別途紹介

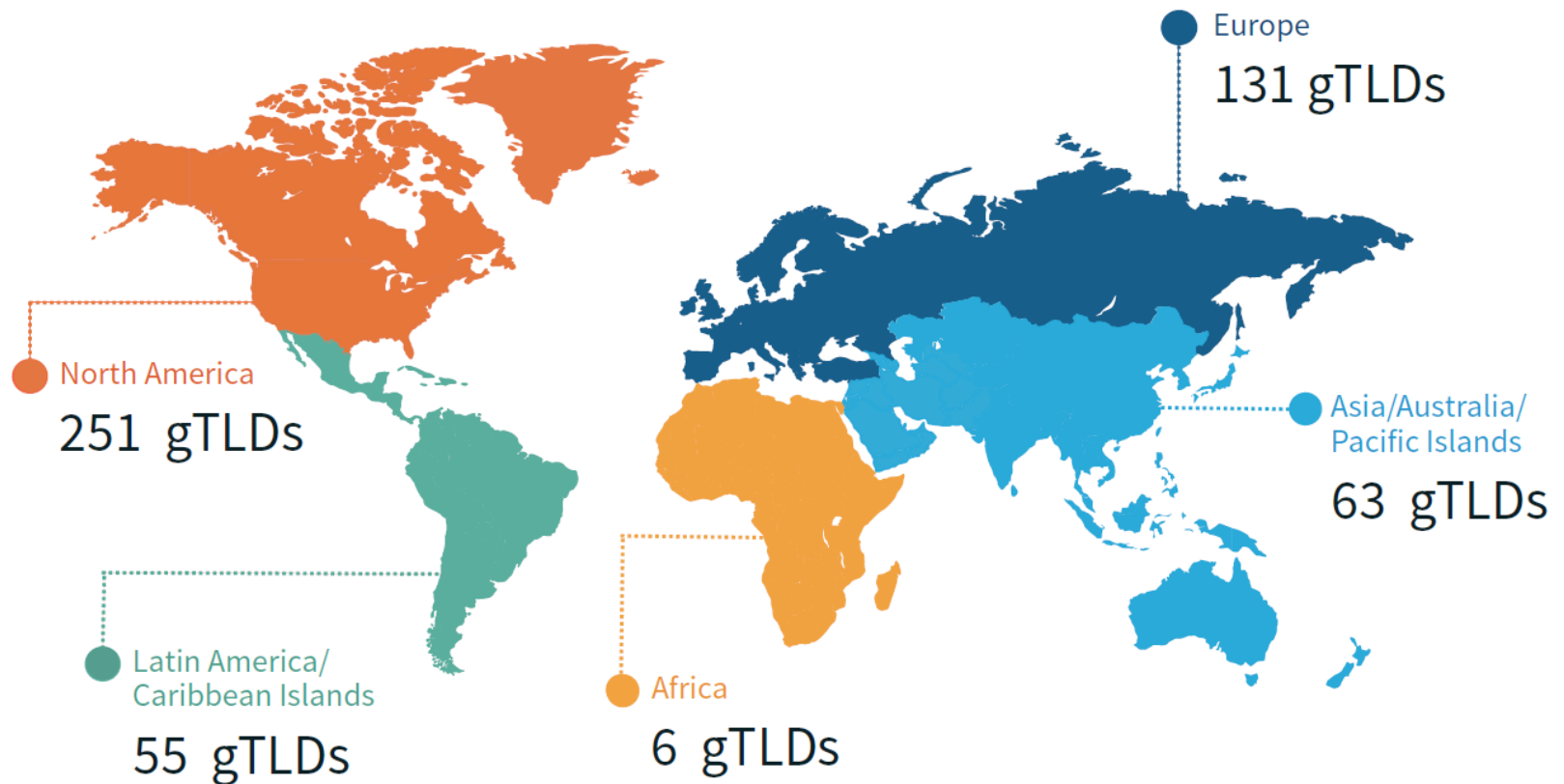
新gTLD

- **ICANN52会議時点(2015年2月6日)では500を超える新gTLDの委任が完了**
 - 約半数は北米、約800件の契約締結
- **233件の文字列競合のうち、70%は解決**
- **10組の競合文字列がICANNのオークションにより解決、\$330万の収入**
 - コミュニティによるCWGを設立して検討する方向
- **継続議論**
 - Universal Acceptance
 - 国名、地域名、2文字の文字列のSLD登録
 - IGOの名称保護
 - Safeguardが必要と特定された文字列への対応

委任済 新gTLDの地域分布

500+ New gTLDs Delegated

As of 6 February 2015



<http://singapore52.icann.org/en/schedule/mon-new-gtld>

新gTLDにおける継続課題への対応

- **Universal Acceptance**
 - WGを立ち上げて対応： Universal Acceptance Steering Group (UASG)
- **国名、地域名、2文字の文字列のSLD登録**
 - 次のラウンドで国、地域名の保護を求む
 - 2文字の文字列のSLD登録が保留となっていることに対してレジストラ部会(RySG)では保留解除求む
- **IGOの名称保護**
 - IGO-INGOの名称保護を検討するWGで引き続き検討、ICANN53までに立場を固め共有を目指す
- **GACによりSafeguard(Category 1, 2)が必要と特定された文字列: GACは申請処理対応に懸念**

Universal Acceptance

- **これらで新gTLDが正しいメールアドレスとして認識されない、問題はIDNに限定されない**
 - Operating systems
 - Mail servers Routers
 - Mail service providers Security software
 - Mail clients
 - iPad、Android phone
 - Windows laptop
- **ICANN52で特化して議論、グローバルな周知が必要としてSteering Groupを設立**
 - <http://singapore52.icann.org/en/schedule/mon-universal-acceptance>

参考：GNSOポリシー

- **IRTP WG B**

- Recommendation 9：ドメイン名の凍結/凍結解除をIRTP第5条に反映, 2015年1月31日以降、全ICANN認定レジストリに適用
- Recommendation: EPP status codes の標準化がさらなるWHOIS information policy(に追加 (発効日未定)
- UDRP locking – ICANN 認定レジストラは改定後の規則に2015年7月15日以降適用が求められる

- **IRTP WG C**

- Recommendation 1：登録者へのポリシー変更、表現を現在レビューチームで検討中
- Recommendation 2：FOAs – updated text の期限限定をレジストラ間の移転ポリシーに反映

次の新gTLDのラウンド

- **ICANN50後、 discussion group を設立し1stラウンドにおける課題を検証**
 - コミュニティによる検討、特別な事例への対応、権利保護、2ndレベルでの権利保護、類似した文字列への対応、レジストリ契約、公共の利益、申請者のサポート、名前衝突、IGO/INGOの名称保護
- **GNSOとしては新gTLDを包括的に検証したい**
- **2019年まで次のラウンドは開始しない、開始にはより本格的な検討が必要**
- **パブコメ向けの報告書を2015年Q2にICANNより発表予定**
 - 効率、有効性、公平性、予測可能性、セキュリティと安定性、ガイダンスへの準拠

gTLD WHOISの見直し

- **ICANN51 (LA) 後にGNSO および理事会からのメンバーにより、検討グループを設立**
 - ICANNスタッフによる暫定報告書を2015年4/5月に発表
 - EWGの報告書を元に今後ポリシー策定に移る段階：ポリシー要件の特定、機能設計、実装へのガイダンス
- **Translation and Transliteration Working Group**
 - WHOIS情報の文字列変換と翻訳は必須としない
- **Privacy & Proxy Services Accreditation Issues**
 - ICANN53までに最終報告書を発表
- **その他参考情報**
 - thick WHOIS：全gTLDはthick WHOIS対応が求められる。2013年レジストラ認定契約にも法的レビュー後反映予定
 - Danish Domain Name Act - WHOIS情報正確性に関する責任